２０２４年1月号

関東学院六浦こども園

みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ（エレミヤ31:21）

人になれ　奉仕せよ

聖　　句：わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。（ヨハネによる福音書　１０：１１）

保育目標：　０歳児　・自分でやってみようとし、できたことを喜ぶ。冬の遊びを楽しむ
１歳児　・神さまに愛され、守られていることを知る。友だちと一緒に遊びを共有する。
２歳児　・神さまに愛され、守られていることを知る。自分の思いや遊びが尊重され満足感を感じる。
３歳児　・新しいことに興味を持ち、繰り返し遊ぶ。お正月遊びを楽しむ。
４歳児　・遊びの中で楽しさを見つけ、繰り返しじっくりと取り組んで満足感を得る。
５歳児　・友だちと時間をかけて思いを実現していく過程を楽しむ。自然を感じながら屋外で遊ぶ。

明けましておめでとうございます。皆さまはどのようにして新しい年を迎えられたでしょうか。元旦の日の出を見られる方も多くいらしたのではないでしょうか。私もそのうちの１人です。海から少しずつ顔をだしてくる陽の光を見ると、心が平安で満たされました。そこには希望があると思えるからです。聖書の言葉に「日は昇り、日は沈む。」（伝道者の書１：５）と書かれています。いつまでも暗闇ではなく、必ず日が昇り、照らしてくださいます。「闇は光に打ち勝てなかった」とも書かれています。クリスマスでイエス様のお誕生のお祝いをしました。まことの光、いのちの光であるイエス様がいつも共に歩んで下さり、私たちの苦しみ、悲しみ、喜び、楽しみ全てを知っている方に信頼し委ね、祈りながら、2024 年、六浦こども園も歩んでいきたいと思います。

2023 年度も９か月が過ぎました。子どもたちの今の姿を見ていると、４，５月の姿が遠い日々に思えてくるのは私だけでしょうか。一人ひとりが色々な課題と向き合いながら、試行錯誤し、失敗し、学び、挑戦するなかで、大きく成長していっていると思います。園庭で挑戦する１本橋。側で見守っていると、必ず「見てて！」と声を掛けられます。ここまで出来るようになった自分を見てもらいたいという気持ちが溢れるほど伝わってきます。また、泣いているお友だちを見ると、同じ気持ちになり泣いていた子が、今では泣いている子がいると側に来て頭を撫でたり「どうしたの？」と声を掛けるようになったりと心の成長を感じます。この休みに１冊の本を読みました。キリスト教保育という月刊誌（毎月、職員で読んだ感想を分かち合っている誌）で紹介されていた書籍*「あなたは人生に感謝ができますか？」著者佐々木正美*　です。佐々木正美先生が書かれた書籍でもあり題名に惹かれたのもあります。読んでみると、エリクソンの心理学に教えられた「幸せな生き方の道筋」でした。エリクソンの学びは、久保健太先生の園内研修を通して４年前から先生たちと現在も学び続けています。こども園でも去年、久保健太先生をお迎えして講演会を行いその時もエリクソンの「ライフサイクル」から子どもの育ちについてお話しを伺いました。乳児期から老年期まで８つの段階に分け、それぞれの年代にはテーマがありそれらを乗り越え次のステージへと発達していき、発達に飛び級はないことを提唱しています。その一番大切な時期である「乳児期・幼児期・児童期」を中心にいつも先生たちは学びを深めています。この書籍の中で*「幸せな人間関係を作ることが、幸せな人生を作ることに繋がっていく。人間関係は基本的信頼から始まり、喜びの分かち合い、そして悲しみの分かち合いへと広がっていきます。やがて価値観の共有が関係を深め、自分の人生を相手にかけられるくらいの親密な関係が作られます。そして最後に感謝です」*と書かれてあります。基本的信頼や人間関係の基礎となっている乳児期・幼児期・児童期。こども園で沢山遊ぶ子どもたちは、本当に多くの経験をしています。仲間と一緒に笑い合ったり、時には喧嘩することもあるでしょう。失敗から得る知恵もあるでしょう。この時期の遊びが一番大切だとも書かれてありました。その積み重ねを経て一つ一つの段階を飛び級することなく成長していけるよう育ちを支えていきたいと思います。紹介した書籍はとても分かりやすく書かれてありますので是非ご一読してみてください。来月の子育て講演会は、フィールドデイの乳児・年少・こひつじクラスの親子で運動遊びをリードして下さっている関東学院大学教授の浮田咲子先生をお迎えします。楽しみにしていてください。また、１月 27 日（土）は六浦こども園設立 10 周年記念礼拝を予定しています。この 10 年間、神様の守りと導きと保護者の方々の支えで歩んでくることが出来ました。心より感謝いたします。そしてこれからもよろしくお願いいたします。

副園長　松下　成美